

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松下 吉樹 / Matsushita Yoshiki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	松下 吉樹 / Matsushita Yoshiki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	松下 吉樹 / Matsushita Yoshiki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	松下 yoshiki ▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	松下 漁業技術研究室（水産学部本館1階）		
担当教員TEL/Tel	松下 095-819-2803		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	松下 吉樹 / 水産研究所勤務経験
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）（対面）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第8回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第7回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030C9	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	濱田 yuhamada▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	濱田 水産利用学研究室（水産学部新館2階）		
担当教員TEL/Tel	濱田 095-819-2854		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）（対面）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第8回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第7回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D1	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	サトイト グレン / Satuito Grenn		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	サトイト グレン / Satuito Grenn		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	サトイト グレン / Satuito Grenn		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	サトイト satuito▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	サトイト 生物環境学研究室（水産学部本館1階）		
担当教員TEL/Tel	サトイト 095-819-2853		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	サトイト グレン / 1991年～2003年まで日本エヌ・ユー・エス株式会社に勤務し、環境関連のコンサルティング業務に携わった。2003年4月から長崎大学で教育・研究の業務に携わっている。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介(対面)
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎(対面)
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力(対面)
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)(対面)
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)(対面)
第6回	クラス別課題学習(対面)
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス(6～10班は第8回目に実施する)6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス(1～5班は第7回目に実施する)1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D2	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	荒川 修 / Osamu Arakawa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	荒川 arakawa▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	荒川 水産食品衛生学研究室（水産学部新々館1階）		
担当教員TEL/Tel	荒川 095-819-2844		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月8日)	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介
第2回 (4月9日)	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回 (4月15日)	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力
第4回 (4月16日)	アクティブラーニングで学ぶコツ (教務委員長)
第5回 (4月22日)	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用 (教務委員長)
第6回 (4月23日)	クラス別課題学習
第7回 (5月7日)	図書館資料収集ガイダンス
第8回 (5月13日)	各自課題を設定し、調べ及び発表準備
第9回 (5月14日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第10回 (5月20日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第11回 (5月21日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第12回 (5月27日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第13回 (5月28日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第14回 (6月3日)	クラス別課題学習 (資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)
第15回 (6月4日)	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D3	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	近藤 yoshikondo▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	近藤 化学海洋学研究室（水産学部本館3階）		
担当教員TEL/Tel	近藤 095-819-2840		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	近藤能子/国内外での研究機関における研究の実施とその内容のプレゼンテーションなど/わかりやすいプレゼンテーションやレポートの作成方法の伝授など
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介(対面)
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎(対面)
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力(対面)
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)(対面)
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)(対面)
第6回	クラス別課題学習(対面)
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス(6～10班は第8回目に実施する)6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス(1～5班は第7回目に実施する)1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D4	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	和田 実 / Wada Minoru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	和田 miwada▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	和田 水圏微生物・生態系研究室（総合教育研究棟4階）		
担当教員TEL/Tel	和田 095-819-2825		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	和田 実 / 共同利用研究所の研究船および附属練習船で教員として野外調査の経験を持つ/海洋観測調査の経験や技法を授業で写真等を交えて紹介し、実務の実態の理解を助ける。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介(対面)
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎(対面)
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力(対面)
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ(教務委員長)(対面)
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用(教務委員長)(対面)
第6回	クラス別課題学習(対面)
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス(6～10班は第8回目に実施する)6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス(1～5班は第7回目に実施する)1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備(対面)
第9回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第10回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第11回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第12回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第13回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第14回	クラス別課題学習(資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備)(対面)
第15回	クラス別課題学習(最終発表会 反省と総括等を含む)(対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D5	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 明德 / Yamada Akinori		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	山田 明德 / Yamada Akinori		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	山田 明德 / Yamada Akinori		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	山田 ayamada▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	山田 微生物・遺伝子解析研究室（水産学部本館1階）		
担当教員TEL/Tel	山田 095-819-2847		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）（対面）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第8回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第7回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D6	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	河端 雄毅 / Yuuki Kawabata		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	河端 yuuki-k▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	河端 行動・機能形態学研究室（水産学部本館3階）		
担当教員TEL/Tel	河端 095-819-2824		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）（対面）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第8回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第7回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D7	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	鈴木 利一 / Suzuki Toshikazu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	鈴木 tsuzuki ▲nagasaki-u.ac.jp (▲を@に変更)		
担当教員研究室/Office	鈴木 浮游生物学研究室（水産学部本館2階）		
担当教員TEL/Tel	鈴木 095-819-2821		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。(2h) 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 利一/国立極地研究所での研究員経験/科学的な思考方法と学習・実験のデザイン、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションの経験や背景を説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4月8日: 場所未定(対面) ガイダンス: モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介 (教務委員会、各担当教員)
第2回	4月9日: クラス指定場所(対面) 懇談、方針説明。テーマは担当教員が設定。学生には自主的な調べ学習を指示(各担当教員)
第3回	4月15日: クラス指定場所(対面) 上記の調べ学習の機会と位置付けて、各教員の裁量で授業を行う。 また、LACSにログインさせ、学修ポートフォリオをその場で入力
第4回	4月16日: 大講義室(対面) アクティブラーニングで学ぶコツ 教務委員長
第5回	4月22日: 場所未定(対面) 情報リテラシ - : 情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作、盗用 教務委員長
第6回	4月23日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第7回	5月7日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第8回	5月13日: (対面) 図書館資料収集ガイダンス
第9回	5月14日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第10回	5月20日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第11回	5月21日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第12回	5月27日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第13回	5月28日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第14回	6月3日: クラス指定場所(対面) クラス別に実施(各担当教員)
第15回	6月4日: 各教員研究室(対面) 課題の完成、担当教員に提出(各担当教員)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2024/04/08 ~ 2024/06/10		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	202405810030D8	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	●初年次セミナー（水産） / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	天野 雅男 / Amano Masao		
授業担当教員名（科目責任者） / Instructor in charge of the course	天野 雅男 / Amano Masao		
授業担当教員名（オムニバス科目等） / Instructor(s)	天野 雅男 / Amano Masao		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） / Intended year (class)	水産学1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	天野 m-amano▲nagasaki-u.ac.jp（▲を@に変更）		
担当教員研究室/Office	天野 海棲哺乳類研究室（水産学部本館3階）		
担当教員TEL/Tel	天野 095-819-2811		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと、また、本学部での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。（目標A, F, G, I, J）		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが、初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加、プレゼンテーション、レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：課題学習のための調査や資料収集を行い、レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。（2h） 事後学習：授業時に配布された資料等を用いて復習を行い、情報リテラシーや情報セキュリティ、図書館資料収集方法についての理解を深め、主体的な学習のスキルを身に着けること。（2h）		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション、自己表現力、コミュニケーション、情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその都度指示する。		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育、アクティブラーニング、教員紹介（対面）
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎（対面）
第3回	レポート作成・提出、ポートフォリオの入力（対面）
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ（教務委員長）（対面）
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う、客観的な分析、引用、盗作・盗用（教務委員長）（対面）
第6回	クラス別課題学習（対面）
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス（6～10班は第8回目に実施する）6～10班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第8回	6～10班図書館資料収集ガイダンス（1～5班は第7回目に実施する）1～5班は各自課題を設定し、調べ及び発表準備（対面）
第9回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第10回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第11回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第12回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第13回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第14回	クラス別課題学習（資料収集及び調査、中間発表、追加調査、調査を纏めるための検討、プレゼンテーションの方法についての検討、発表の準備）（対面）
第15回	クラス別課題学習（最終発表会 反省と総括等を含む）（対面）